

やまびこだより



市の花 すずらん
天然記念物
昭和5年11月指定

また花が咲き、野山が明るくなっています。『まちづくり協議会』もやっと薔薇がほころんで、咲き出そうとしています。今回も「やまびこだより第8号」での活動等ご報告します。

1月16日（土）向渕人権学習会に68名

平成27年度2回目の人権学習会は永年教師生活を送られ、現在も幅広く活躍しておられる大和高田市人権教育推進協議会事務局長の大久保幸一さんをお招きして「子育て・人権・頭の体操2016」～優しさをたばねて～というテーマでの講演が行われました。

日々、頭の体操ということでクイズも出題されました。例えば、キリンの角は2本であるか？否か？虎の耳の模様は黄色であるか？違うか？等々、知っていたはずのことが、改めて問われたらいかに確実に覚えておらず、いい加減な知識か、全く「生兵法は怪我のもと」と再認識されたことでした。キリンの角が何本でも、虎の耳の色が何色でも、人間の日常生活ではさほど困ることも他人に迷惑をかけることもないけれど、これが人間のことならば・・・人と人が相生きる社会で生兵法であることの恐ろしさ、他人の言葉や評価など、うのみにせず確実に知ること！判断すること！そしてそうあらんとたえず鉛振り思い出すことが、非常に大切だと学ばされました。



向友会1月18日（月）スポーツレクリエーション大会に59名

寒中厳しいながら、冬の光があふれる午後のひと時、やまびこホールに集まった、約60名の向友会員は目を輝かせ、ホール内では卓球、シャッフルボード、和室ではトランプ、カルタの勝敗に一喜一憂しました。おやつタイムでは、二輪草から手作り和菓子が振舞われ、最後にはbingoゲームもありで、この一日は童心にかえってはしゃぎました。

シャッフルボードを楽しむ参加者



2月7日（日）龍王ヶ渕周辺の（葦）焼却作業を行う

昨年12月にまち協の役員で葦刈りを実施し、今回はその枯れた葦を消防団立会いのもと、まち協委員・自治会役員・田子農家の37名で一斉に焼却しました。湖畔は真っ赤に炎上、瞬く間に地面は黒こげになり、綺麗に焼却できました。今期の新緑シーズンには新芽が伸びて風にそよぎ、また神秘的な龍王ヶ渕湖畔になることでしょう。



向友会3月27日（日）27年度末総会＆28年新入会員入会式に92名参加



花冷えの日ながら、92名の会員が出席、27年度末総会並びに28年度新会員入会式が開催されました。議事では、これまで年度末総会と初総会の年2回行われていた総会を年1回にするということが賛成多数によって承認されました。また28年度も会員の生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、更に地域づくりを目標に様々な事業に取り組むことが決められました。式の終了後は懇親会で、久しぶりに会った人達とお喋りに花を咲かせたりしながら、昼食をいただき、午後からはゲストの七之助さんの舞踊とマジックショーを楽しみました。



まち協活動紹介コーナー

お花クラブ

クラブが発足し30余年になります。飯降絹代先生の指導で第3木曜の月一回のお稽古です。めまぐるしい時代にあって花と向き合うゆつたりした時間でもあり、又情報交換の場ともなり和気あいあいと活動しています。

参加ご希望の方は吉田トキ子（92-2455）迄



向渕のスズラン山を護る会



間伐を行い、明るくなった山

本会はスズラン山入口に位置する自治会購入山林の環境整備を目的に発足し、昨年5月に『まち協』に入会しました。昨年は宇陀市のスズラン育成指導員による観察会を実施、徐々にではありますが保存作業の度にスズランが増えている事に喜びを感じています。今年2月からは毎週山に入り山林の間伐を実施、今迄の鬱蒼とした山林が見違えるほど明るくなり、スズランが咲き競う5月には新しいスズラン山としてお目見えする予定です。間伐木は薪利用を考えていますので、ご入用の方は薪作りにご参加下さい。改めて皆さんにご連絡いたします。

3B体操（ボール・ベルター・ベルの手具を使った体操）

皆で楽しく運動をし、体力の維持向上をはかる目的で、やまびこホールが完成したのをきっかけに発足しました。発表の機会として、向渕フェスティバル、県スポーツフェスティバルのオープニングなどに参加しています。

入会ご希望の方は 曽良はるみ（92-2789）迄

二輪草

“ふれあい・いきいきサロン”に参加しませんか！！

毎月1回やまびこホールで65才以上の方々と地域のボランティアが集い楽しいひと時を過ごしています。体をほぐし・ゲーム・小物づくり・季節の歌・お茶タイムなど参加者の笑顔がいっぱいです。

気軽にご参加を！ 参加ご希望の方は 上北律子（92-3128）迄



ラジオ体操

毎日曜日朝7時30分から実施しています、多くの人の参加をお待ちしています。



編集後記 花は、人々のためにではなく、己の種族保存の戦略で咲いているのですが、まわりの人々は、その花に笑顔をもらいます。まちづくりの会も、そんな姿でありたいですね！